



あゆみ

〈教育目標〉
やさしく
かしく
たくましく

明けましておめでとうございます

新しい年2015年(平成27年)を迎えました。保護者、地域の皆様には、ご家族ともに健やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。昨年は、様々な教育活動にご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。おかげ様でいろいろな学校行事を始め、様々な教育活動も順調に実践でき、子どもたちも健やかに成長することができました。新年を迎え教職員一同、心を新たに子どもたちのために指導にあたって参ります。短い3学期ですが子どもにとっては節目となる大切な時期であると思しますので、さらなるご支援ご協力をお願いいたします。



さて、毎日寒い日が続いていますが、朝、子どもたちは元気いっぱい大きな声で挨拶をしながら登校して来ます。子どもたちの明るい笑顔と挨拶に元気をもらっています。そして、休み時間になると、縄跳びの練習に頑張っている姿が多く見られます。いろいろな技を一つ一つ習得していくのが、うれしくてたまらない様子です。『できる』ことは自信につながります。難しい技に挑戦しながら、どんどんたくましくなっている子どもたちの姿を見るのが楽しみな毎日です。

厳しい寒さのなかで、一見枯れ木のように見える木々もその内側では、芽吹く準備を進めています。冬の間蓄えた養分があるからこそ、春の訪れとともに美しい花を咲かせることができます。子どもたちもあと2ヶ月ちょっとで進学・進級を迎えます。3学期のこの時期、子どもたちには、自分の目標をもう一度心に刻み、日々の努力を重ねて、春に備えて欲しいと願っています。どうぞ、家庭や地域でも子どもたちに温かい励ましの声かけをお願いします。

おいしい給食ありがとうございます

1月19日(月)～23日(金)は給食週間です。学校給食の始まりは、明治22年、山形県の私立忠愛小学校で出されて『おにぎり、塩鮭、菜の漬け物』だそうですが、本格的な学校給食は、戦後になってからです。昭和22年、食糧難にあえぐ日本にユニセフから脱脂粉乳が提供され、翌年にはアメリカからも大量の小麦粉が提供されました。当時の給食は、アルマイト製の食器で、パンを主食とし、鯨肉の竜田揚げや千切りキャベツなどを副食とした物でした。学校給食への理解の深まりや保護者からの支持を得て、昭和29年に『学校給食法』が制定され、学校給食が全国に広がりました。

1月21日(水)の『給食集会』では、表彰や給食委員の紙芝居、調理員さんへの感謝の会を行い、改めて給食について考える機会にしたいと思います。2学期には自校炊飯を行うなど睦小の給食は、日本一おいしいと自慢できる給食だと思います。そのおいしさの秘密は、何といたっても給食に携わる方々の愛情と努力の賜であるといえます。生き物の命をいただいていることや作ってくれている人達への感謝の気持ちを忘れず、毎日の給食を「ありがとう」の気持ちをもって欲しいと思います。

また、壬生町の学校では『早寝、早起き、朝ご飯』を推奨していますが、この機会に自分の食生活を見直し、生涯にわたって健康でたくましい身体を自分で作れる子どもになって欲しいと願っています。



今年は『未(ひつじ)』年

○ 『未』年に思いを寄せて

今年が『未(ひつじ)』年です。羊は激しい競争やトラブル、争いごとが嫌いな動物です。また、チームワークを必要とし、フレンドリーな関係が好きです。しかし、困難には負けません。

睦小学校の子どもたちは、一人一人が仲良く力を合わせることでこれまで運動会や様々な行事を成功させてきました。今年も羊のようにみんなが協力することで、安心して気持ちよく生活ができる睦小学校を作りたいと思っています。

また、羊の毛は古くから人々を温かく包んでくれました。2学期にも話しましたが、フワフワ言葉や思いやりのある言動を通して、ウールのセーターが人を温かくくるむように人に優しく接し居心地の良い睦小にして欲しいと思います。



○ 『未(ひつじ)』 干支の由来

群れをなす羊は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味しています。

○ 十二支占い『未』 平成15年生まれ

(6年生で1~3月生まれ、5年生で4~12月生まれの人)

従順で温和、情に厚く親切です。人との争いや対立を嫌うため、人間関係もいたって良好です。ただし、その優しい性格から、頼みごとが断れない場合もありますので注意してください。

○ “羊”のように

“羊”さん一家のように仲良く生活して欲しいと思います。

食べ物の好き嫌いもなく“うめー うめー”と元気に育って欲しいと思います。

“未”から“美” 身体も心も美しくなって欲しいと思います。

いざというときは“羊”から“オオカミ”に変身して、夢中で頑張りたいと思います。

“未”来に向かって、一步一步前進して欲しいと思います。

縄跳び大会での“めー”演技を期待しています。

いろいろな“めー”人になって欲しいと思います。 漢字名人、計算名人など

『命を守る』

釜石の奇跡に学ぶ

1月14日(水)に避難訓練を行いました。本校では各学期に避難訓練を実施しています。1学期は火災を想定し、新しい教室からの避難経路を確認しました。2学期は地震と火災を想定した訓練を行い、その後教室で竜巻からの避難の訓練をしました。(当初の予定では消防署の協力を得て、煙道体験をする予定でしたが天候が悪かったために中止しました。)そして、3学期は休み時間を利用し、予告をせずに校内の様々な場所から自分で判断して安全に避難することを目的に訓練を実施しました。

東日本大震災の津波による釜石市の死者・行方不明者は1000人以上に上りました。しかし、釜石の学校に通う小中学生全児童生徒2926人中、学校を休んでいた4人と保護者が連れて帰宅した1人を除く全員が津波から逃れたといわれています。その生存率は、なんと99.8%『釜石の奇跡』と言われています。地震の後、学校の管理下にあった児童生徒だけでなく、下校していた子どもの多くも自分の判断で高台に避難したそうです。さらに、周辺にいた老人や大人達の命も救ったといわれています。避難訓練は、形式を教えるものではなく、子どもたちに『危機回避能力』を育てることだと思っています。

災害はいつ起きるか分かりません。教師や大人の指示に従うだけでなく、自分の命、身体は自分で守るという能力を身につけさせなければなりません。この『危機回避能力』は、日頃から、子どもたちに様々な体験をさせ考えさせ、その中で小さな失敗をさせて育てていくものであると考えています。

大人がいないときでも、危機を察知し回避することにより、子ども自身で命、身体が守れるよう、ご家庭でも話し合っていたいただけると幸いです。

